

# おうち

第24号  
2014.2

テーマ 「夢をもつ子に」



「ゆめ おとうさんみたいなのうか」 いけだ こうき さん (年長)



「まじよになりたいな」 ほし ひより さん (年長)



©はつとふる

俳優・作家 高見のつば

「夢をもつ子に」...

小さい人の見る夢は毎日のように変わるものかもしれないね。でも、その数多の夢の中から自身の中でずっと持続する「夢」となるものに巡り合えたとしたらこんな良いことはない。「そんな幸運なんぞめったにないよ。」とは大人の言い分で、夢見るおチびさんにはそんな言い分は無用のものです。

五才の頃でした。私の膝の廻りには、ローソクの火で焙り損なった竹ヒゴが、うずたかくなっていて、私はゴム動力のヒコーキの翼のカーブを一心不乱になぞっていたのです。

「アハハハハ。あんたみたいなブキツチヨな子は見たことがないわ!」

この母親の一言で、私は七十九才の今に至るまで、自分の指先の能力には毛ほどの期待も持たぬ人になりました。

「おほほほほ。あなたは音痴だわあ。」  
この一言で、私はその後四十年、人前で唄えなくなりました。

ホームルところを見つけなくちゃいけません。間違っても私の母親が発した致命的な一言なんぞ……。

「私はね、ひよっとすると眞の造形作家か、あるいは名歌手になっていたかも知れませんよ!」

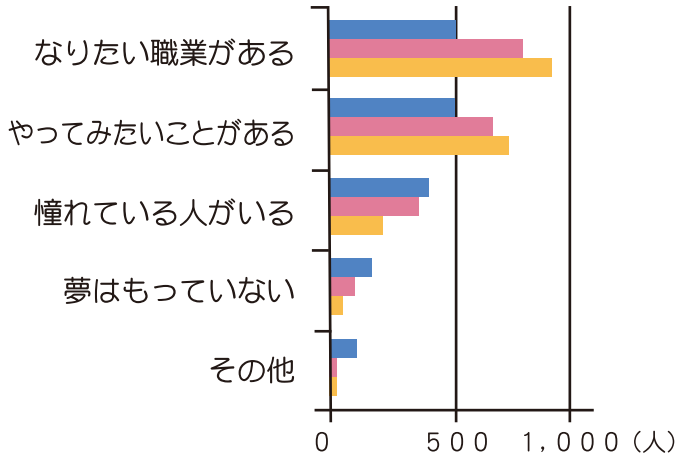
—— 七十九才の爺の半分本気の言 ——



# アンケート 夢をもつ子に...

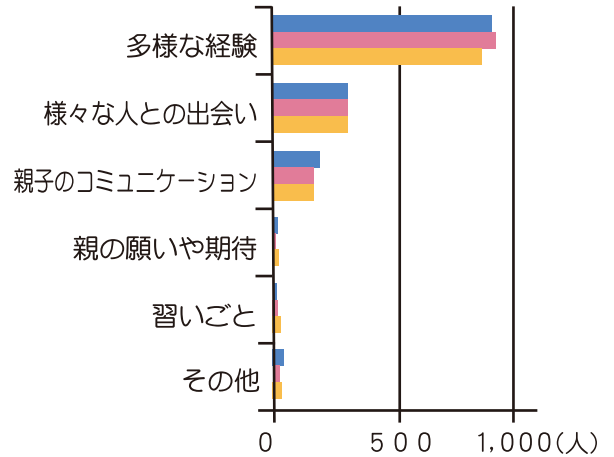
<対象：県内の3～5歳の子をもつ保護者 回答数：■年少 1,314 ■年中 1,371 ■年長 1,373 計 4,058人>

**Q1** お子さんは、夢をもっていますか。  
(4つまで回答)



「なりたい職業がある」「やってみたいことがある」の回答は、年齢が上がると増えます。

**Q2** お子さんが夢をもつようになるには、特にどんなことが大切だと思いますか。  
(1つ回答)



「多様な経験」の回答は、どの年齢でも最も多いです。

## Q1の具体的記述より

# みんなのゆめ



ヒーローになって、  
みんなをまもりたい!

ちょうちよになっ  
て、  
おくすりを  
くばるの!

なんちょうさん  
みたいに  
はしりたい。

うみに  
もぐってみたい。

にじのすべりだい  
やってみたいな。

だいすきな  
たんじんの  
めぐみせんせい  
になりたい!

ケーキやさん!  
おいしいケーキで  
みんなを  
よろこばせたい。

ママに  
なりたい!

たかいところ  
こわいけど...  
パパみたい  
なしょうぼうし!



体験・出合いが子どもの夢の入り口

## Q. お子さんの夢を応援するために、日頃から心がけていること

TVの〇〇マンのようにになりたい!と、いつも言っています。  
〇〇マンのように強く、優しく、正義感のある大人になってくれたら、とても嬉しいです。



お風呂で自分の子どもの頃の夢を話したり、今の仕事の話をしたり…。  
息子も「ぼくも大工やる!」なんて言ってますけどね(笑)。

パン屋に行けばパン屋さんになりたい、病院に行けば看護師さんになりたいって、ころころ夢が変わっちゃうけどいいのかな…?

今は、いつか我が子の運転する新幹線で、旅するのが私の夢です。  
子どもと一緒に、夢を楽しんでいます。

やりたいと言ったら、失敗してもいいから、思いっきりやらせるようにしています。  
できる範囲ですけど…。

おもちゃの片付けで、最後の一つは必ず子どもにしてもらいます。  
小さな「できた!」が大事だと思うので。

夢というとなんだか構えちゃいますが…。  
子どもの今やりたがっていることが、初めの一歩になるのかな。

特別なことをするのではなく、外で遊んで、楽しく食べて、ぐっすり眠る。満足できる一日を大切にしています。



## 自信と想像力が夢のエネルギー

子どもたちの夢には、意欲や憧れ、身近な人を喜ばせたい気持ちがあふれていますね。子どもたちがこのような夢をもち、前向きに生きるためには何が大切でしょうか。

一つは、自分はどうにかできるはずという“自信”です。自信は、「あなたは大丈夫!」と、大人が子どもを信じることで育まれます。自分を信じてくれる大好きな人がいるから、子どもは自分を信じることができます。「みて!みて!」と子どもたちは言いますね。それを、「うん、うん。」と見守ってくれる人がいることで、できた喜びを確かに感じ、自信を得るのです。

もう一つは、希望のある未来を思い描く“想像力”です。想像力は、多様な体験の機会をつくることで育まれます。なぜなら、私たちは無から未来を想像することはできません。多様な体験という素材があるからこそ、それを組み合わせ、目には見えない未来を想像できるのです。

生涯にわたって前向きに生きる基盤となる“自信と想像力”を育みましょう。

## 大人が夢のサポーター



### いっしょにあそぼう!

くすぐったり、おんぶをしたり、じゃれあって大声で笑うハルくんとパパ。ハルくんがひざにスツと乗ってきて、なんだか元気がないときも、じゃれつき遊びで二人とも元気になります。

ハルくんがパパに身を任せて楽しおって、何気ないことだけど、実はとってもすごいこと。自分を受け入れてくれる感覚を、言葉以上に味わっているんです。

今しかできない、そんな幸せな経験が大人になったハルくんを、きっと支えてくれるでしょう。

自信

## さんぽにいこう!

3歳のナナちゃんは、祖母との散歩が大好き。帰る頃には、草花や近所でもらったお菓子でポケットはパンパンです。ある日、向こうからホームレス風の男性が…。ナナちゃんはいつものように「こんにちわ〜」と手を振りました。すると、男性は涙を流しながら、「人からあいさつされたのは、何十年ぶりだあ。ありがとう…」。

20歳になるナナちゃんは作業療法士の夢に向かって勉強中。散歩がいろいろな人とかわる心地よさを教えてくれたのかもしれない。

出会い

### えほんをよもう!

モモちゃんは、絵本の世界に入り込んで遊んでいました。「すべり台は崖ね!」「このブランコは船!」「私、大きくなったら冒険家になる!」と、嬉しそう。

その夜、別の絵本を読んでもらうと、「明日は魔法使いごっこする!大きくなったら魔法の研究する!」。

大人になったモモちゃんは、建築家になりました。絵本の世界で培った想像力を生かし、わくわくする建物を考えているそうです。

想像力

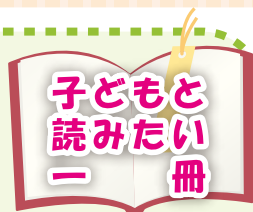
### 「マシューのゆめ えかきになったねずみの はなし」



レオ=レオニ  
訳 谷川俊太郎

ほこりだらけの屋根裏に住むねずみのマシュー。大きくなったら何になりたいかと聞かれても、「わかんない…」。

そんなマシューに、世界の見え方が一変する出来事が起こります。



### ★アンケートのお願い★ 次回テーマ 「なかよしになるって?」

「おうち」は皆さんの声で構成する情報誌です。ぜひ、ご協力ください。アンケートは幼稚園・保育所にお出してください。直接、幼児教育センターへお出しいただくことも可能です。

### 家庭教育ホットライン(保護者専用) TEL 028 (665) 7867

(ひとりで) なやむな

保護者の皆さん! お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか? 秘密は絶対に守ります! 一人で悩まず気軽に御相談ください!

受付時間 午前8時30分~午後9時30分 毎日(日曜日・年末年始を除く)

※上記時間以外と日曜日・年末年始は留守番電話・FAX(電話番号と同じ)で対応しています。

栃木県教育委員会

### 幼児教育情報誌「おうち」 第24号

発行者 栃木県総合教育センター幼児教育部  
(栃木県幼児教育センター)

URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

平成26年2月発行

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216

e-mail: [yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp](mailto:yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp)

※バックナンバーはホームページで読むことができます。

